

第1章 西宮林野火災の検証～本市の火災対応に関する課題の抽出～

1 検証作業の概要

(1) 検証の目的等

令和3年2月21日（日）に発生した足利市西宮林野火災（以下「西宮林野火災」といいます。）では、人命や住家に被害は無かったものの、鎮火までに23日間を要し、結果として林野被害面積が167haに拡大したほか、周辺市街地への火災の延焼や住民への健康被害が懸念されるなどの事態となりました。

特に火災発生後3日目から強風に見舞われ、一気に延焼範囲が拡大してしまったことから、火災発生日から2日目にかけての初動対応について課題を残しました。

また、消火活動では、自衛隊や市外消防機関等から非常に多くの支援を受けました。その規模は、この度の林野火災での延焼範囲同様、本市においてかつてないものであったため、本市における外部支援の受入体制はどうであったかについて検証し、今後の対策を検討する必要があります。

さらには、新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される中、周辺地域305世帯に対する避難勧告を行うこととなり、寒い季節での避難所開設と相まって、避難所の開設・運営等に課題があったものと考えられます。

このように、この度の林野火災に関する本市の対応を振り返れば、様々な課題があることが考えられるため、今後、その対策を講じていくことで、本市の危機管理体制及び地域防災力強化の一層の推進に繋がることが期待できます。

そこで、この度の火災を教訓とし、今後の大規模林野火災対策に資するため、次の視点に基づき西宮林野火災における本市の対応について検証することとしました。

参考資料1「延焼範囲図」参照

参考資料2「気象日報」参照

参考資料3「対応組織図及び設置状況」参照

◆ 検証の視点

- ①市と関係機関・団体による火災対応に係る課題の抽出及び対策の検討
- ②消火活動における外部支援の要請及び関係機関との連携に係る課題の抽出及び対策の検討
- ③災害対策本部等が行った災害対応業務に係る課題の抽出及び対策の検討
- ④本火災を教訓とした今後の体制整備

(2) 検証体制

火災対応時にご支援・ご協力をいただいた関係機関・団体等による「足利市西宮林野火災検証会議（以下「関係機関・団体会議」といいます。）」及び市関係各課による「足利市西宮林野火災庁内検証会議（以下「庁内検証会議」といいます。）」を設置し、検証作業にあたりました。

参考資料4「足利市西宮林野火災検証会議 設置要綱」参照
参考資料5「足利市西宮林野火災庁内検証会議 設置要綱」参照

(3) 検証作業の経過

ア 関係機関・団体会議

会議開催のほか、関係機関・団体への意見照会、ヒアリング、実務者レベルによる意見交換会等を行いました。

実施日	内容（場所）
令和3年10月15日（金）	第1回足利市西宮林野火災検証会議 （市役所）
10月22日（金） ～11月8日（月）	会議構成機関・団体、関係自治会に 対する意見照会
11月11日（木）	栃木県消防防災課との意見交換（県庁）
11月18日（木）	陸上自衛隊第12特科隊第3中隊との 意見交換（宇都宮駐屯地）
11月18日（木）	気象庁宇都宮地方气象台との 意見交換（宇都宮地方气象台）
11月18日（木） ～12月3日（金）	総務省消防庁及び東京消防庁に対する 意見照会
11月26日（金）	安足土木事務所との意見交換 （安足土木事務所）
12月2日（木） ～12月10日（金）	会議構成機関・団体に対する記録誌 （素案）の確認依頼
12月15日（水） ～12月21日（火）	会議構成機関・団体に対する記録誌 （素案）の再確認依頼
令和4年1月14日（金）	第2回足利市西宮林野火災検証会議 （市役所）

イ 庁内検証会議

会議開催のほか、関係各部課に対する意見照会、ヒアリング等を行いました。

実施日	内容（場所）
令和3年10月18日（月）	第1回足利市西宮林野火災庁内検証会議（市役所）
10月22日（金） ～11月12日（金）	関係各部課に対する意見照会
11月25日（木）	第2回足利市西宮林野火災庁内検証会議（市役所）
12月 2日（木） ～12月10日（金）	関係各部課に対する記録誌（素案）の確認依頼
12月15日（水） ～12月21日（火）	関係各部課に対する記録誌（素案）の再確認依頼
12月23日（木）	第3回足利市西宮林野火災庁内検証会議（市役所）